

2023

令和5年7月19日

第26号

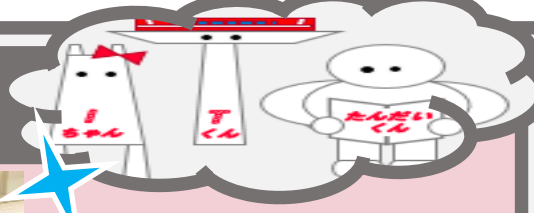
(通算72号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

IT短大VIEW!



1 AIについて体験し学べた



体験授業の様子

「第1回オープンキャンパス」で実施された体験授業「AIについて知ろう」では、近年のAIに関する技術の紹介

(ChatGPT等)及びStretchを用いたAI(機械学習)プログラミングにより、画像認識(じゃんけん)プログラムの作成を行いました。

AIを知るきっかけになったと好評でした。本校では、目覚ましく進歩するIT技術を、確かなリテラシーを醸成し学びを深めています。



体験授業の様子

<参加した高校生の声>

- 「AIの学習方法が自分で体験出来て楽しかった」
- 「大まかにしか知らなかったAIですが、仕組みから、簡単なやり方まで体験し学習できて良かった」
- 「高校で習った時より説明が分かり易く、いろいろなものを使って学ぶのがとても楽しかった」
- 「AIという言葉は知っていたが、あまり理解できていなかったなので、今日は良く分かりました。」

<保護者の声>

- 「初めてオープンキャンパスですが、とても分かり易く楽しい体験をしました」
- 「息子にやりたいことが見つかりました。」
- 「在学生の皆さんのサポートが分かり易かった」
- 「実際に機械に触れて体験できて良かったと思う」



2 活躍する学生②



「第1回オープンキャンパス」では、8人の学生が、受付から体験授業などをサポートしました。保護者への説明を担当した小口大翔さん(友部高卒)は「ITの専門技術の学びと、新聞を読み要約と感想を書くトレーニングについてお話ししました」また、大津光さん(水戸商高卒)は「この学校の学びの特色や、志望理由をお話ししました」保護者からは「学生の生の声が聞けて良かった」と話されていました。



体験授業の様子



保護者に説明する
小口大翔さん(中央)



体験授業の様子



受付風景

3 記事トレ!



本校では、IT専門力に加え、社会人基礎力の向上のために、「記事トレ」を実施しています。新聞を読んで考える事で、読み解く力を育成します。

<記事> 読売新聞(2023年7月7日)
自分で考える力を失わぬよう

◇要約

●飯村寧音さん(水城高卒)

「ChatGPT」などの生成AIを学校現場でどう取り扱うべきなのかについて、文部科学省が小中高校向けの指針を公表した。

AIはあくまで道具であり、万能ではない。「最後は自分で考え、判断する」ことを学ばせたい。

◇感想

●佐藤瑠聖さん(水戸啓明高卒)

AIを上手く活用していく方法を確立すべきだと思う。制限するだけでなく、活用例などで教育に使う方針はいいと思った。

インターネットなどと同様に、リテラシーを身に付ければよりよい生活の味方になると考える。

●菊池琉雅さん(勝田工高卒)

私も、分からないことを調べる際にAIを使用することがある。

今回の記事で問題視されているAIに任せて自分で考える力を失う様なことがないように、自分で考え、判断するという原則を忘れずに使おうと思う。

●皆川流星さん(勝田工高卒)

「チャットGPT」は間違ったことが書いてある可能性がまだあるため、ほかでも調べながら活用すべきだと思う。

文章もそのまま写すのではなく、出てきた文章を参考にし、自分の言葉でまとめるのが大切だと思います。

●山田真生さん(勝田高卒)

私は、正直これからの社会では知識より情報の使い方をしっかり学び、活用していくべきだと思う。

だから、この記事のようにガッツリ遠ざけず使い方をみんなで学んでいくべきだと思った。

